

年間で約5000人が訪れる体験交流施設

古代から、天皇家に食材を献上する御食国として栄えた小浜市。「食」をキーワードにしたまちづくりを推進し、平成13年には全国で初めて「食のまちづくり条例」を制定して話題になりました。阿納地区にあるブルーパーク阿納は、そんな小浜市の強みを生かした体験交流施設です。

「阿納地区は昔からトラフグの養殖や民宿の経営が盛んな地域。しかし不況の影響から、地域ぐるみで何か新しいことを始めよう」と模索していたんです」と振り返るのは、ブルーパーク阿納の代表河原和夫さん。平成18年、漁業と民宿を営む阿納地区の14戸で阿納体験民宿組合を設立。翌年に漁港を活用したブルーパーク阿納を開業し、教育旅行の誘致に乗り出しました。

開業した初年度こそ1校170人だったものの、知名度の広がりとともに利用者は増加。平成29年度は岐阜県の中学校を中心に、東京都や京都府、広島県など、全国各地から約30校5000人が訪れました。近年は県外の中学校や旅行代理店を訪問し、体験メニューや受け入れ体制を説明するPR活動にも力を入れています。

地域の魅力が詰まった体験食の大切さを知ってほしい

受け入れ期間は4月から11月にかけて。ほとんどの学校は1泊2日で訪れるため、組合の各民宿が宿泊を担当しています。



(右)漁船に乗り込み、若狭湾の漁場を巡ります
(中)若狭湾の自然が満喫できる海上釣堀で釣り体験
(左)シーカヤックも人気メニューの一つ



地域の人たちと県外の子どもの交流の機会にもなっています



ブルーパーク阿納代表
阿納体験民宿組合代表
河原和夫さん

ひと回り成長して帰っていく姿を見ると、大きな充実感を覚えます。

ブルーパーク阿納
小浜市阿納8-4
TEL 0770-54-3610 (阿納体験民宿組合)
http://bluepark-ano.com/

教育旅行の受け入れを地域の活性化につなげたい
今年3月には、「都市と農山漁村の共生・対流推進会議」が主催し、総務省や文部科学省、日本経済団体連合会が後援する「第15回オーライ!ニッポン大賞」で「オーライ!ニッポン大賞」を受賞しました。賞は、都市と農山漁村の交流活動を盛んにする団体や個人を表彰するもので、多種多様な取り組みが高く評価されました。「もつともやりがいを感じるのは、子どもたちの笑顔や変化に触れたとき。『自分で釣ってさばいた魚っておいしいね!』という声を聞いたり、ひと回り成長して帰っていく姿を見ると、大きな充実感を覚えます。これか

らも各校の提案や意見を取り入れながら、体験メニューへさらなる改良を加えていきたい」と前を見据えます。今年はずで5月と6月の予約が埋まっているそう。参加校の増加を見据え、他地域と協力していく必要があり。また、これまでに培ったノウハウを還元していくのも目標のひとつ。もっと広い範囲で連携し、産業や観光の活性化につなげていきたいと話します。「他の地域では後継者不足が深刻。教育旅行の受け入れに関する取り組みが、その一助になれば」と河原さん。ブルーパーク阿納の成功例が、どのような広がりを見せていくのか。小浜市全体を盛り上げていくためにも今後の展開に期待が高まります。

【巻頭特集】

地域の民宿・漁業関係者が連携

ブルーパーク阿納が育む子どもたちの成長

県外の中学校を中心に、毎年多くの教育旅行を受け入れている小浜市阿納地区のブルーパーク阿納。魚釣りや調理、若狭湾クルージングなど、多彩な体験を用意しています。運営する阿納体験民宿組合は今年3月、総務省や文部科学省が後援する「第15回オーライ!ニッポン大賞」で大賞を受賞。地域活性化につながる活動として大きな注目を集めています。

食育を通し、生きる力を学んでもらうのが体験の大きなテーマ。子どもたちは海上につくられた釣り堀で魚を釣った後、屋内の体験施設で自ら調理します。「今の子どもたちは、スーパーで売っている切り身の魚しか知らない子がほとんど。自分で魚を釣って、さばいて、食べる。それぞれのプロセスから、普段の生活では見えない部分を体験してもらいたい」と話します。魚をさばくときは、怪我のないように組合員が細かくサポート。2枚にさばいた魚を、刺身と焼き魚で味わいます。「生き物の生命をいただくのが食事だと知り、食を大切にすることが学んでほしい。食を育む自然環境に対しても、関心を寄せてくれるようになったらうれしいですね」ほかにも、若狭湾を巡る魚に餌を与える漁船クルージング、自分たちの力で岬を往復するシーカヤック体験、汲んだ海水を土鍋で煮込む天然塩づくり、収穫した梅を使った梅シロップや梅ジュースづくりといった若狭湾の自然を生かしたメニューが充実。地域の寺で行う座禅体験、箸研ぎもあり、子どもたちは1泊2日でさまざまな経験を積み重ねます。夜は各民宿で夕食後に「語る会」を実施。1日の体験で得られた感想を話し合ったり、小浜市の特徴や海の仕事に関する苦労話を組合員から聞いたり、地域と子どもたちの交流が育まれています。



阿納地区の蓮性寺で行う座禅体験



梅林で梅を取って、梅シロップや梅ジュースをつくります。ほかに天然塩づくり体験も実施



半身を刺身に、残りは焼き魚用にさばきます



自分で調理した魚を、おにぎりや味噌汁と一緒にいただきます